

令和7年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体	PLANET(HIV・エイズとともに生きる会)	
実施事業名	第33回エイズキャンドルパレード	
団体代表者	小田切孝子	
事業の目的	エイズキャンドルパレード開催により、HIV・エイズに関心を持ってもらい、関連する歴史や正しい知識を持ってもらうきっかけになることを目的とする。	
事業の達成度	様々な背景の方々に参加して頂いたという意味では、目標を達成している。啓発対象者人数も増加した。しかし、パレードの参加者数は昨年と同じくらいで増加しなかったことが課題と考える。また、今回は烏丸・河原町通の各店舗にレッドリボンを配布したが、実際に掲示頂いたのは10店舗だった。レッドリボンを掲示頂く店舗が想像したより少なかったことが課題と考える。	
事業実績	対象となった人数 (実数)	摂南大学ボランティア部の学生さん(15人)にパレード全体の活動に関わって頂いた。パレード参加者15人、レッドリボンとチラシを配布した店舗100店舗、通行人50名以上の計180人
	具体的な活動内容	<p>多様な「性」と「生」を認めあう社会の実現を目指すという共有する目標を持つ京都レインボープライドパレード2025にブース展示参加及びパレードに参加しました。エイズキャンドルパレードのチラシ配布による宣伝や舞台で話す機会を得ました。金沢市のHIV・エイズ陽性者支援者団体のかたとお話しする機会を得ました。第33回エイズキャンドルパレード(以下、パレード)の事前準備として、当団体代表が摂南大学のボランティア部を訪問し、パレードの歴史やHIV・エイズの現状及び具体的に依頼する活動内容などをお伝えしました。パレード1週間前に上記ボランティア部の学生さん10名とともに、パレードの道筋にある烏丸・河原町通りの店舗をほぼ全て廻り、パレード当日にレッドリボンを店頭に掲示頂くようお願いしました。</p> <p>パレード当日は、約30人のかたに参加頂きました。また貴市から頂いた啓発用チラシ及び当団体作成のリーフレット等を入れた袋を全て、ボランティアの学生さんたちとともに通行人に渡しました。参加者は、摂南大学の学生さんが15名ほど、毎年参加頂いているかた、京都レインボープライドパレードのご縁で金沢市のNPO団体の方々、久しぶりにご参加頂いたCHARM代表や途中参加でインドネシア人のジャーナリストのかたなど、多彩な背景を持つ方々が参加頂きました。またコンドームの着ぐるみの秘忍者ハットリさんも参加して下さり通行人の方々から大人気でした。本年は、プロのカメラマンにパレード全体を撮影頂き、記録をすることにしました。課題としては、パレードの広報、団体の資金不足など多々あります。またパレードの記録動画を作成しようと思っておりますがなかなか進んでおりません。</p> <p>貴団体により、助成金を支給頂いたこと及びご後援賜りました事を深く感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。</p>

活動の様子

Xのアドレス: <http://x.com/PlanetKyoto>
 mailのアドレス: planetkyoto@gmail.com
 instagramのアドレス: [planetkyotohiv](https://www.instagram.com/planetkyotohiv)

